

オンリーワンの自分作り

主幹教諭 寺井 俊之

鳴尾高校の正門北側にある桜がとても綺麗に咲きました。行き来する人達が何人も写真を撮っていましたが、生徒に観てもらおうことのない桜はどこか寂しそうに見えました。

桜は厳しい冬を越え温かくなると目をさまし、美しく咲く準備をするのか・・・とと思っていましたがそうではないそうです。実は、夏につぼみを付け、葉で太陽のエネルギーを、根で栄養分を吸収する。そして冬の10°以下の厳しい気候の頃にあえて目をさまし、春に美しく咲く準備をします。それを「休眠打破」と呼ぶそうです。以前、エジプトに桜の木を沢山植えたことがあるそうですが、暖かく居心地のいい気候のエジプトでは、まったく花が咲かなかったそうです。つまり、なまぬるい環境にいただけでは桜は咲かないという事です。

テレビのチャンネルをつけると「新型コロナ」「3密」「パンデミック」「オーバーシュート」「医療崩壊」「ロックダウン」等、今まで聞いたことのない言葉ばかりで不安に駆られる毎日です。今、皆さんは突然の休校で当たり前のように過ごしていた友達との時間が、かけがえのない貴重なものだ気づかされているのではないのでしょうか？

人が成長するタイミングは「艱難辛苦」(かんなんしんく)の時です。困難に遭って、苦しみ・悩む時にこそ、アイデアが生まれます。そしてそこから人として成長が出来ます。今と戦いながら乗り越え、その先にある素晴らしい未来へと向けて、新しいものを創造していきましょう。

大切な事は

- 1 「心を洗う」
- 2 「心を広くする」
- 3 「心のコップを上向きにする」
- 4 「心に窓を沢山作る」

そんな作業をしてほしい。

「桜のつぼみ」に負けないくらいの、「私のオンリーワンのつぼみ」を付けて欲しいなと思います。

臨時休業が解除になった時、中庭の芝桜が綺麗に咲いていることでしょう。知っていますか？ 芝桜の花言葉は「希望」「忍耐」「温和」「協調」です。